

平成25年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年5月24日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 キタック

コード番号 4707 URL <http://www.kitac.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中山 輝也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 高橋 幸雄

TEL 025-281-1111

四半期報告書提出予定日 平成25年6月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年10月期第2四半期の業績(平成24年10月21日～平成25年4月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年10月期第2四半期	1,276	23.2	143	△13.8	123	△13.8	70	△9.1
24年10月期第2四半期	1,036	△1.0	166	62.1	142	95.9	77	104.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年10月期第2四半期	12.58	—
24年10月期第2四半期	13.84	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
25年10月期第2四半期	4,914		1,846		37.6	329.69
24年10月期	4,975		1,781		35.8	318.05

(参考) 自己資本 25年10月期第2四半期 1,846百万円 24年10月期 1,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年10月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年10月期	—	0.00	—	—	—
25年10月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年10月期の業績予想(平成24年10月21日～平成25年10月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,162	9.0	205	9.6	150	11.1	60	100.0	10.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年10月期2Q	5,969,024 株	24年10月期	5,969,024 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

25年10月期2Q	368,435 株	24年10月期	368,435 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年10月期2Q	5,600,589 株	24年10月期2Q	5,600,689 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

①業績の概況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要等に加え、平成24年12月の政権交代後に打ち出された経済政策・金融政策への期待感により、円安基調が続き株価上昇も進行するなど緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、一方では欧州債務問題の長期化や民間の設備投資に対する慎重姿勢が続くなどにより、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

その中で当社の属する建設コンサルタント業界の市場環境におきましては、政権交代に伴う政策転換により、国の建設投資については復興関連事業を中心とした補正予算の執行などにより増加が期待されるものの、一方では地方公共団体の公共事業については予算の縮減傾向が継続されているため、引き続き厳しい受注環境となりました。

こうした状況の中、当社としましては、前事業年度より引き続き技術提案に基づく評価方式への対応強化を経営の最重要課題のひとつとして位置づけ、きめ細かな営業活動を展開して全社を挙げて受注確保に取り組みましたが、当第2四半期累計期間の受注高は8億2千万円(前年同四半期比16.7%減)となりました。

なお、収益面では、売上高については、前事業年度末の繰越業務が11億1千万円と前期比21.5%増だったこともあって12億7千6百万円(前年同四半期比23.2%増)となりました。しかしながら、各利益については、外注費の増加要因等により営業利益1億4千3百万円(同13.8%減)、経常利益1億2千3百万円(同13.8%減)、四半期純利益7千万円(同9.1%減)となりました。

また、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(建設コンサルタント事業)

建設コンサルタント事業の当第2四半期累計期間の業績は、前述のとおり、前事業年度末の繰越業務の増加などにより完成業務収入11億9千3百万円(前年同四半期比24.7%増)、売上総利益3億6千8百万円(同2.6%減)となりました。

(不動産賃貸等事業)

不動産賃貸等事業の当第2四半期累計期間の業績は、前年同四半期とほぼ横ばいとなり不動産賃貸等収入8千3百万円(前年同四半期比5.2%増)、売上総利益1千6百万円(同4.2%増)となりました。

②売上高の季節的変動について

当社の主要事業である建設コンサルタント事業は、主要顧客先が国・地方自治体であることから、公共事業の工期が事業年度末である3月および9月に集中する傾向にあるため、当社の売上高の計上時期が第2四半期会計期間と第4四半期会計期間に偏る傾向が高い反面、販売費及び一般管理費は各四半期毎に概ね均等に発生するという季節的変動要因があります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の分析

(資産)

資産合計は、49億1千4百万円(前事業年度末比6千1百万円減)となりました。

主な増減内訳は、受取手形及び完成業務未収入金(同5千7百万円増)、未成業務支出金(同1億1千9百万円減)等であります。

(負債)

負債合計は、30億6千7百万円(前事業年度末比1億2千6百万円減)となりました。

主な増減内訳は、短期借入金(同5千万円減)、1年内償還予定の社債(同2億1千4百万円減)、社債(同1億5千万円増)等であります。

(純資産)

純資産合計は、18億4千6百万円(前事業年度末比6千5百万円増)となりました。

主な増減内訳は、利益剰余金(同4千2百万円増)等であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、投資活動ならびに財務活動による資金の流出はありましたが、営業活動による資金の流入により、当第2四半期累計期間末は6千7百万円(前事業年度末比7百万円増)となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果流入した資金は、1億8千7百万円(前年同四半期は流入した資金6億7千8百万円)となりました。これは、主に税引前四半期純利益1億2千3百万円、たな卸資産の減少額1億2千万円、法人税等の支払額6千5百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果流出した資金は、2百万円(前年同四半期は流出した資金6百万円)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出1百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果流出した資金は、1億7千7百万円(前年同四半期は流出した資金4億4千1百万円)となりました。これは、主に短期借入金の純減少額5千万円、社債の発行による収入1億3千4百万円、社債の償還による支出2億1千4百万円、配当金の支払額2千8百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

本資料に記載されている業績予想につきましては、当第2四半期累計期間において概ね計画通り推移していることから平成24年12月5日付発表「平成24年10月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の記載から変更はありません。なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年10月21日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、これによる当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要
該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年10月20日)	当第2四半期会計期間 (平成25年4月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	86,454	93,980
受取手形及び完成業務未収入金	124,074	181,966
未成業務支出金	303,185	183,318
貯蔵品	3,999	3,079
繰延税金資産	27,039	21,210
その他	10,629	18,334
貸倒引当金	△306	△460
流動資産合計	555,074	501,429
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	269,592	322,193
工具、器具及び備品(純額)	410,025	410,328
賃貸資産(純額)	1,190,162	1,100,975
土地	2,354,153	2,354,153
その他(純額)	30,153	26,208
有形固定資産合計	4,254,087	4,213,858
無形固定資産		
投資その他の資産	13,417	12,724
投資有価証券	96,945	121,665
繰延税金資産	39,858	38,106
その他	16,065	26,339
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	152,855	186,097
固定資産合計	4,420,360	4,412,681
資産合計	4,975,435	4,914,110
負債の部		
流動負債		
業務未払金	68,083	103,419
短期借入金	530,000	480,000
1年内償還予定の社債	232,000	18,000
1年内返済予定の長期借入金	217,540	224,944
未払法人税等	67,751	49,576
未成業務受入金	178,526	161,108
賞与引当金	39,217	34,210
業務損失引当金	6,777	256
その他	139,324	153,343
流動負債合計	1,479,219	1,224,857
固定負債		
社債	200,000	350,000
長期借入金	1,258,791	1,234,949
退職給付引当金	39,831	44,799
役員退職慰労引当金	181,033	180,630
その他	35,275	32,443
固定負債合計	1,714,932	1,842,822
負債合計	3,194,151	3,067,680

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年10月20日)	当第2四半期会計期間 (平成25年4月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	479,885	479,885
資本剰余金	306,201	306,201
利益剰余金	1,105,836	1,148,269
自己株式	△110,487	△110,487
株主資本合計	1,781,436	1,823,868
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△152	22,562
評価・換算差額等合計	△152	22,562
純資産合計	1,781,283	1,846,430
負債純資産合計	4,975,435	4,914,110

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年10月21日 至平成24年4月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年10月21日 至平成25年4月20日)
売上高	1,036,381	1,276,814
売上原価	641,861	891,396
売上総利益	394,520	385,418
販売費及び一般管理費	※1 227,653	※1 241,523
営業利益	166,866	143,895
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	767	767
業務受託手数料	10,083	6,539
その他	1,375	5,887
営業外収益合計	12,231	13,199
営業外費用		
支払利息	25,461	23,890
社債利息	4,134	1,647
その他	6,737	8,454
営業外費用合計	36,333	33,992
経常利益	142,765	123,102
税引前四半期純利益	142,765	123,102
法人税、住民税及び事業税	65,166	47,091
法人税等調整額	70	5,575
法人税等合計	65,236	52,667
四半期純利益	77,528	70,435

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年10月21日 至平成24年4月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年10月21日 至平成25年4月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	142,765	123,102
減価償却費	44,079	43,226
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,155	4,967
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,680	△402
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△775	154
受取利息及び受取配当金	△772	△771
支払利息	25,461	23,890
社債利息	4,134	1,647
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,365	△5,007
未成業務受入金の増減額(△は減少)	282,049	△17,417
未払消費税等の増減額(△は減少)	6,363	7,663
売上債権の増減額(△は増加)	325,898	△57,892
たな卸資産の増減額(△は増加)	△99,989	120,786
仕入債務の増減額(△は減少)	△18,743	35,335
業務損失引当金の増減額(△は減少)	△504	△6,521
未収入金の増減額(△は増加)	△422	△4,582
その他	△87	10,105
小計	714,928	278,284
利息及び配当金の受取額	767	767
利息の支払額	△28,289	△26,167
法人税等の支払額	△9,349	△65,163
営業活動によるキャッシュ・フロー	678,056	187,722
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,312	△1,616
無形固定資産の取得による支出	△720	△648
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,032	△2,264
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△480,000	△50,000
長期借入れによる収入	200,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△116,710	△116,438
社債の発行による収入	—	134,112
社債の償還による支出	△14,000	△214,000
リース債務の返済による支出	△2,476	△3,602
配当金の支払額	△28,003	△28,002
その他	△11	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△441,201	△177,931
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	230,823	7,526
現金及び現金同等物の期首残高	40,154	59,854
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 270,978	※1 67,380

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間(自 平成23年10月21日 至 平成24年4月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	建設コンサルタント事業	不動産賃貸等事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	957,481	78,900	1,036,381
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	957,481	78,900	1,036,381
セグメント利益	378,573	15,947	394,520

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第2四半期累計期間(自 平成24年10月21日 至 平成25年4月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	建設コンサルタント事業	不動産賃貸等事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,193,797	83,017	1,276,814
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,193,797	83,017	1,276,814
セグメント利益	368,799	16,619	385,418

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。